

平成26年度事業別評価調書（チェックリスト）

整理番号	115	事業名	交付金事業（道路、道路橋りょう改良事業（県単） （前回評価時：地方道改築事業）		補助 単独	地区名 （事業箇所名）	主要地方道 郡山湖南線 三森Ⅰ工区		関係 市町村名	郡山市	担当部（局） 課（室）名	土木部 道路整備課																		
評価の対象となる理由	第1項第4号： 評価実施から5年を経過し継続中の事業				前回（平成21 年度）評価時の対 応方針	委員会からの発言：事業継続 付帯意見：なし				県の対応方針：事業継続																				
事業根拠法・要綱等の名称	道路法第15条																													
事業の概要	[事業目的及び全体計画] (1) 事業目的 復興の基盤となる道路網の早期整備を促進し、県中地域と会津地域の交流を支援するため、三森峠の急勾配で屈曲した区間を回避するバイパス区間の整備により、異常気象時の通行止めを解消するとともに冬期間の安全な交通の確保を図る。 ・県中地域と会津地域を結び、両地域の相互 流を促進し、魅力ある地域づくりを支援 ・災害発生箇所及び大雨による通行止め（通行規制雨量120mm）の解消 ・冬期間の安全通行を確保 (2) 全体計画 ・延長 長：L=2.1km ・幅員 員：W=6.0（8.0）m ・主要構造物：（仮）三森1号橋 L=61m、（仮）三森2号橋 L=78m、（仮）三森3号橋 L=181m （仮）三森1号トンネル L=396m、（仮）三森2号トンネル L=149m < > は平成21年度評価時																													
	事業の採択年度	H12	完成目標年度	<H28> H30	用地着手年度	H18	工事着手年度	H18																						
	事業費（うち用地費）	全体事業費	これまでの投資事業費合計		左の財源内訳又は負担割合		これまでの年度別投資実績（26年度は見込額である。）																							
		<7,732> 8,507 <(57)> (57)	5,572 (51)	国 60% 県 40%	市町村 その他	～23年度	24年度	25年度	26年度																					
進捗率	事業費ベース	72.1%	用地費ベース	89.5%	その他（ ） %																									
事業の進捗状況	[整備の状況] 平成20年度まで、多田野大橋、多田野トンネルを含む終点側約0.85kmの改良工事を実施し、一部供用した。現在は、約1.27kmの第2期施工分の工事に着手し、整備を進めている。 [事業実施上の課題や問題点、今後の事業見通し] 今後は、（仮）三森3号橋 L = 181.0m に着手し整備を進める予定である。（H24保安林解除済） [関連事業の進捗状況] 三森Ⅰ工区（第1期施工）（L=0.9km, H17完成） 三森Ⅱ工区（L=2.7km, H14完成） 三森Ⅲ工区（L=0.7km, H16完成） 三森Ⅳ工区（L=1.1km, H17～事業中） みなし進捗率=(B)/(A)=88.9% > 70% 投資済事業費(B)=5,572（百万円） みなし事業費(A) = 全体事業費 8,507 × 14年 = 6,268（百万円） （全体工期19年） 経過年数																													
	事業に関する社会経済情勢	[事業に関する社会経済情勢]（特記すべき事項） (1) 現在の状況 1) バイパスの整備により、大雨や大雪等の異常気象時や災害発生時の通行止めを解消し、地域連携の強化を図る必要がある。 2) 郡山市街地と湖南地域を連絡する生活道路及び観光道路であり、観光地へのアクセス性強化のために早期整備が必要である。 (2) 変化の有無 有・無 (3) 変化の内容 なし (4) 地域の協力体制等 ・本事業に期待する地域の熱意が特に高い事業である。 ・郡山市の協力体制が確立し、早期の整備完成を望んでいる。 ・用地境界立会や用地交渉において、市職員などともに行った。 [事業に関連する評価指標等] (1) 主要な評価指標の変化 ・三森Ⅰ工区 第1期施工（0.85km）供用開始																												
	事業の進捗状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価指標（算式）</th> <th colspan="2">事業採択時（H12）</th> <th colspan="2">評価実施時（H26）</th> <th rowspan="2">減（+-）</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>現況</th> <th>完成時</th> <th>現況</th> <th>完成時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三森Ⅰ工区の連絡時間</td> <td>9分</td> <td>3分</td> <td>6分</td> <td>3分</td> <td>-3分</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>											評価指標（算式）	事業採択時（H12）		評価実施時（H26）		減（+-）	備考	現況	完成時	現況	完成時	三森Ⅰ工区の連絡時間	9分	3分	6分	3分	-3分	
	評価指標（算式）	事業採択時（H12）		評価実施時（H26）		減（+-）	備考																							
現況		完成時	現況	完成時																										
三森Ⅰ工区の連絡時間	9分	3分	6分	3分	-3分																									
事業の進捗状況	(2) その他特記すべき事項 ・現況交通量（H22） 3,997台/日 ・将来交通量（H42） 5,400台/日 [環境への影響等] 希少野生動植物の情報に基づく対応 <b>実施</b> ・ 未実施（ ） (1) 環境への影響内容とその対策 ・特になし (2) その他特記すべき事項 ・防護柵や案内標識の支柱などについては景観に配慮した色彩とする。																													
事業の進捗状況	評価	<b>A</b>		B、	C																									
事業の進捗状況	評価	<b>A</b>		B、	C																									





(別紙)

## 費用対効果分析

交付金事業（道路）（主要地方道 郡山湖南線 三森Ⅰ工区）

$$\frac{\text{効果（便益）} B}{\text{費用} C} = \frac{B① + B② + B③}{C① + C②}$$

[費用項目]

- C①：道路整備に要する事業費（工事費、用地費、補償費等の合計）  
C②：道路維持管理に要する事業費（道路維持費、道路清掃費、照明費、オーバーレイ費、その他（間接経費等）の合計）

[効果項目]

- B①：走行時間短縮便益  
道路の整備・改良が行われない場合の総走行時間費用から、道路の整備・改良が行われる場合の総走行時間費用を減じ、その差額を便益として算出する。  
総走行時間費用は、交通量、走行時間に時間価値原単位を乗じた値を整備効果がある路線全体で集計したもの。
- B②：走行経費減少便益  
道路の整備・改良が行われない場合の走行経費から、道路の整備・改良が行われる場合の走行経費を減じ、その差額を便益として算出する。  
走行経費減少便益は、走行条件が改善されることによる費用の低下のうち、走行時間に含まれない項目を対象としている。  
具体的には、燃料費、油脂費、タイヤ・チューブ費、車両整備費、車両償却費等の費用について、走行経費原単位（円/km/台）を用いて算出する。
- B③：交通事故減少便益  
道路の整備・改良が行われない場合の交通事故による社会的損失から、道路の整備・改良が行われる場合の交通事故による社会的損失を減じ、その差額を便益として算出する。  
交通事故の社会的損失は、運転者、同乗者、歩行者に関する人的損害額、交通事故により損壊を受ける車両や構築物に関する物的損害額及び事故渋滞による損失額から算出している。

[考え方]

評価年度を基準年度として工事期間と供用開始後50年間に生ずる効果額、費用額を算出し比較する。

計算

$$\frac{B① + B② + B③}{C① + C②} = \frac{106.67 + 16.84 + 1.64 \text{億円}}{94.84 + 1.29 \text{億円}} = \frac{125.15 \text{億円}}{96.13 \text{億円}} = 1.30 (>1.0)$$